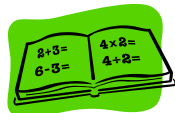


はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2015年8月発行

今、国政が注目を浴びていますね。安倍首相をテレビで見ることたびたびあります。安保法案、新国立競技場の建設……。来夏の参議院選挙からは選挙権が18歳以上になります。ぜひ、若い人たちに政治に関心を持ってもらいたいと思います。男女共同参画についても、すべての女性が輝く社会をめざして国の取り組みが行われています。やっぱり、多くの人に関心を持たないと何事も進んでいかないのだと思います。はもりあも、どんどん啓発に努めていきます。催しを行う時には皆さんお越しく下さいね。



平成27年版

「男女共同参画白書」が公表されました！

毎年、6月の「男女共同参画週間」に合わせて政府が発表する「男女共同参画白書」。今年の特集は、「地域の活力を高める女性の活躍」です。政府が近年進めてきた取組みをふり返るとともに、女性の活躍の現状や男女の仕事と暮らしについて、都道府県別の状況を明らかにしながら、各地域が女性の活躍を通じて活力を高めていくための課題を整理しています。

【すべての女性が輝く社会づくりに向けた政府の動き】

政府は、女性の力を「我が国最大の潜在力」と捉え、成長戦略の中核に位置づけ「すべての女性が輝く社会」の実現に向けて「すべての女性が輝く社会づくり本部」設置、「暮らしの質向上検討会」等の様々な取り組みを実施してきました。

その結果、女性の就業者数及び就業率は大幅に増加しましたが、潜在力としての女性の力はまだ大きいと言えます。そんな中、女性の置かれている状況や活躍に関する意識は、地域により異なるため、地域の実情に応じた取り組みを進めていくことが重要になってきます。

【地方の政治・行政・経済分野における女性の活躍～三重県、四日市市の状況】

地方公務員（都道府県）管理職に占める女性の割合は、平成26年の全国平均は7.2%であり、三重県は7.0%と平均に近い数値になっています。平成16年の全国平均は4.9%で、三重県は3.6%であったことからすると、だいぶ進んできたと言えます。

一方四日市市は、管理職（課長級以上）の女性割合は平成27年4月時点で18.6%であり、男女共同参画プランよっかいちを策定した平成22年（15.4%）から比べると、6年間で約3%増加しています。

「202030」【社会のあらゆる分野において、2020年までに、指導的地位に女性が占める割合を、少なくとも30%程度にする】からするとまだまだ遠い数値ではありますが、少しずつ進んできてはいます。

【地域における男女の仕事と暮らし】

都道府県別にみると女性の有業率は、男性と比較して地域差が大きいですが、就業意欲は、実際の有業率よりも地域差が少なく、有業率の低い地域ほど女性の力を生かし切れていない可能性があります。また、女性の有業率が高い地域では正規雇用も多く、子育て期も含めた安定的な就業の継続が図られている可能性があります。

一方、男性の長時間労働者の割合が高い地域では、女性の有業率が低い傾向があります。性別役割分担意識との関係を見ると、「夫が外で働き、妻は家庭を守る」という意識の強い地域では、男性の長時間労働の割合が高い傾向があります。

女性が自分の希望に応じた就業を実現できるよう、男性の家事や育児への参画意識を高め、男性の長時間労働の是正を図ることが重要と考えられます。女性にとってはもちろん、男性にとってもワーク・ライフ・バランスへの取り組みは重要になってきています。

詳しくは、内閣府ホームページをご覧ください。
はもりあ四日市でも冊子を閲覧できます。



～★男性の育児参画★～

男性も育児を楽しもう！！笑っている父親になろう！！

内閣府「女性の活躍推進に関する世論調査（平成 26 年度）」によると、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に反対する男女の割合（反対＋どちらかといえば反対）が、平成 24 年度の 44.9% に比べ平成 26 年度では 49% に増加しており、性別役割分担意識が徐々に薄れていることが読み取れます。その中で、女性が意欲に応じて社会で働くためには、育児をしながら働くことができる環境の整備はもちろん、男性の育児へ参画できる機会を作ること、そして育児参画への意識を高めることが必要です。

そこで、四日市市では、「父親の子育てマイスター養成講座」を実施し、子を持つ男性の育児への参画機会と育児のための知識の提供を行い、男女が共同で子育てする社会の実現と、育児を楽しむ“笑っている父親”を増やす取り組みを行っています。



★父親の子育てマイスター養成講座 第6期生募集★

対 象：市内に在住する18歳以上の男性で、子育てに関心がある人

料 金：無料（託児あり、事前申し込み必要）

申込方法：9月11日までに、名前・住所・電話番号・託児の有無（託児希望の場合、お子様の名前と年齢）を、電話、FAX、Eメールまたはハガキでこども未来課へ

その他：詳しい内容については、こども未来課までお問合せください。

〒510-0085 四日市市諏訪町2番2号

【電話】354-8069 【FAX】354-8061

厚生労働省によると、6歳未満児のいる夫が1日あたりに家事・育児をする時間は、日本は他の先進国と比べて短い時間となっています。また、日本の共働き世帯数は、平成9年以降は妻が就労していない世帯の数を上回り、さらに年々増加しています。夫婦で家事・育児を分かち合うことにより、夫婦仲が良くなるかもしれないだけでなく、少子問題解決の糸口、更に日本の景気低迷脱却の糸口になるのではないのでしょうか。「イクメン」が増えて、四日市が笑顔あふれるまちになるといいですね。

事業報告

三重県内男女共同参画連携映画祭2015

「マダム・イン・ニューヨーク」上映しました



来場者でいっぱい会場

6月27日(土)、四日市市文化会館第2ホールで三重県内男女共同参画連携映画祭2015として「マダム・イン・ニューヨーク」を上映いたしました。市民の皆さんに男女共同参画について考えていただくきっかけづくりとして始まり、四日市市での開催は9回目を迎えました。

前日よりの雨で天気が心配されましたが、当日は、天気も回復し、500名超の来場をいただき、盛況に終えることができました。

来場者アンケートでは、「あらためて男女の関係、あり方を考え直すきっかけになりました。」「映画を通じて、考えさせられると同時に自信をもって行動しようという勇気を与られました。」「といった前向きなご意見を多数いただきました。この映画祭を通じて、市民のみなさんに男女共同参画がわかりやすく、身近なものに感じていただければと思います。

女性のための法律相談

女性が抱える問題を解決するための糸口として、「女性のための法律相談」を、行っています。女性の弁護士から専門的なアドバイスを受けることができます。



平成 26 年度の相談は・・・

相談室として面接相談で話をお聴きした後、必要に応じて法律相談につなげています。

26年度におつなぎした相談は、離婚に伴う養育費、婚姻費用(別居中の生活費)、親権、面会交流、財産分与(年金分割も含む)、慰謝料の相談が多くを占め、他には、夫・別れた夫・交際相手からのDVに関する相談がありました。

相談者によって状況はそれぞれ異なりますが、弁護士から法的にどのような対応ができるかのアドバイスを受けました。

なお、相談者へは、法律相談後も必要に応じて支援をしています。

弁護士のコメント

法律相談の際は、話しやすい雰囲気をつくることを心がけています。

お困りの際は、気軽にご相談ください。

↓ 図書コーナー



「はもりあ四日市」の図書コーナーも活用ください。

『こんなときどうする？女性のための法律相談ガイド』 発行：株式会社ぎょうせい

編集 東京弁護士会・両性の平等に関する委員会

『子連れ離婚を考えたときに読む本』 出版：日本実業出版社 作者：新川 てるえ

『国際結婚・離婚ハンドブック』 出版：明石書店 作者：田代 純子・国際結婚を考える会

今月のキーワード

なでしこ銘柄

「なでしこ銘柄」という取り組みをご存知でしょうか。この取り組みは、経済産業省が東京証券取引所と共同で、女性活躍推進に優れた企業を選定・発表する事業で、2012年より開始しました。「女性活躍推進」に優れた企業を、「中長期の企業価値向上」を重視する投資家にとって魅力ある銘柄として紹介することを通じて、そうした企業に対する投資家の関心を一層高め、各社の取り組みを加速化していくことを狙いとしています。

なでしこ銘柄は、①女性のキャリア促進と②仕事と家庭の両立サポートの二つの側面から評価を行い、株主資本利益率の高い(業績の良い)会社を選ばれます。つまり、女性管理職や女性役員の比率の高い会社で、長時間労働者が少なく、また在宅勤務など柔軟な働き方ができるなどの取り組みを行っている会社を選ばれています。平成26年度は40社が選ばれており、平成25年度の26社から大きく増加しています。企業が、女性の活躍やワーク・ライフ・バランスの促進に力を入れていくことで、女性にとっても男性にとっても働きやすい職場に変わっていくと思います。今後もどんどん増えていってほしいですね。

男女
共同

さんかくeye

あい

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点★を通してね。

今回は、「私は見た！私の周りの男女共同参画」というお題で、何気ない生活の中でみた風景について書いてみたいと思います。

ある快晴の日、布団を干そうと2階のベランダに出ましたら、ご近所のみなさんも、こそって布団干しと洗濯干しをしていました。私の家は、見事なまでに60代・70代の世帯で囲まれているのですが、なんと！布団を干しているのも、洗濯を干しているのも男性でした。女性はと言いますと、お花の水やりや、はたまた、ご近所同士のおしゃべりに花を咲かせていました。「男性は仕事、女性は家事・育児」の考えが強かった世代の方々だと思いますが、年を経て、時代は流れ、こうして違和感なく家事に参画されている姿を目にし、うれしく感じました。

そういえば、うちのご近所の男性陣、自治会の行事や奉仕作業にも積極的に参加されています。

何か、すごいぞ！うちのご近所さん！ということで、近々ある公園掃除をわが夫に参加してもらおうと、ほくそ笑む私です。

【担当：S】

登録グループイベント情報

Palette セミナー 自分磨き・自分探し講座 Vol.5

「姿勢美人になる！きらめきストレッチ」

NPO 法人ワークスタイル・デザイン

あなたの姿勢、キレイですか？スマホやパソコンに夢中になって、ねこ背やスマホ巻き肩が増えていきます。家でもできる腰痛予防体操を覚えて、健康で美しく見える姿勢を手に入れましょう。

日時 9月29日(火) 10:00~11:30 所 本町プラザ3階 はもりあ四日市「こどものへや」

講師 姿勢科学士 小黒千鶴さん(KCSセンター四日市北代表)

参加費 1,300円 定員 15人(先着順) ※幼児連れOK

持ち物 バスタオル(肩こり予防の「魔法のまくら」を作ります)・水筒・動きやすい服装

申・問 NPO 法人ワークスタイル・デザイン ・電話: 059-347-7292 ・ホームページ: wsdesign.org

「四日市初」産後の女性のためのヘルスケア講座

「産後のボディケア&フィットネス体験講座」 マドレボニータ東海TOMOS

出産後、後回しにしがちな自分の体のこと。ここで産後の女性の体と心に最適なヘルスケアを体験しませんか？バランスボールを使った有酸素運動、産後の女性の心のカラクリのお話、そして自分と向き合い思いを深め、みんなでシェアするワークをします。

日時 9月12日(土)・16日(水)・30日(水) 10:30~12:00(受付開始は15分前)

所 本町プラザ3階 はもりあ四日市「こどものへや」

対象 産後の女性(生後210日以内の赤ちゃんは一緒にご参加いただけます)

産後の女性なら産後何年経っていてもOK。産後一カ月検診で問題がなければご参加いただけます。

参加費 500円 定員 8組

申 申込みはこちらのフォームからお願いします。 <http://ws.formzu.net/fgen/S40883264/>

QRコードからもアクセスできます。

問 マドレボニータ東海TOMOS 佐橋(080-3660-6710)まで



登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループを紹介します。

今回は **四日市友の会** さんです。 代表 伊藤 峰子

月刊誌「婦人之友」の愛読者の集まりで、1939年に設立されました。高角に友の家があり、そこを中心として、健全な家庭をはぐくみ、地域に働きかけ、よりよい社会を創りたいと活動しています。

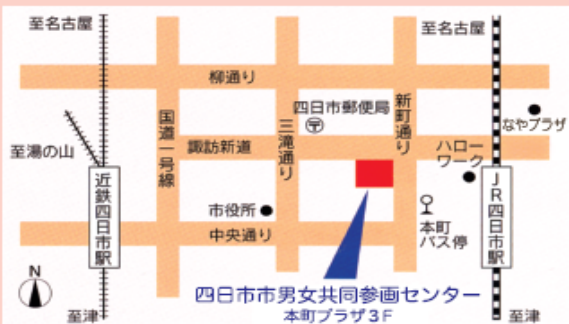
毎月乳幼児を持つ母の集まり「すくすくの会」、生活を向上させる「生活勉強会」、近所の会員の集まり「最寄会」があります。その他に、11月に「家事家計講習会」、12/5(土)には会員手作りのスモックエプロン、鍋帽子、クッキー、ケーキなどが販売される「クリスマスセール」、「おもてなし料理講習会」なども開催しています。いつでもどなたでも参加できますので、気軽にお越しください。

また、小学校入学前の3年間の幼児教育「幼児生活団」を運営しています。

住所：四日市市智積町大字大谷 2910-4 TEL & FAX 059-326-2081

◎◎あとがき◎◎

こんにちは！「はもりあ四日市」の磐梨です。夏休みに入り、「はもりあ四日市」に子どもたちや学生さんが来館することが増えました。学びと交流の場「はもりあ四日市」を、もっとたくさんの方に知っていただき、ご利用していただけるように、これからも頑張りたいと思います。



四日市市男女共同参画センター（はもりあ四日市）

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00~PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>